

# 100周年を記念した

## 多彩なイベント目白押し!!

多種多様なイベントが市内各所で開催。コロナ禍において中止・延期もあるが、感染防止に取り組みながら可能な範囲で実施されている。主に市が主催・共催する「一宮市100周年記念事業」と、民間の団体が100周年を機に新たなことに挑戦する「市民チャレンジ事業」があり、まだまだお楽しみ満載! 事業一覧は一宮市100周年特設サイトなどでチェック。各イベントの詳細は実施団体に問い合わせ要確認。新しい一宮市の魅力を見つけに、いろんなイベントを楽しんで!

2021 (令和3) 年9月1日に市制施行100周年を迎える一宮市。  
一宮市の100年の歩みや、注目の記念の事業などを紹介するよ!!

くれよんちゃん



一宮市100周年 特設サイト

## 一宮市100周年記念事業の3つの注目イベント

### 1 謎解きウォークラリー

5つの会場コースで、謎を解きながらゴールを目指す! 開催日から各会場配布場所と一宮市100周年特設サイト内で「謎解きマップ」を配布。参加費無料。謎が解けると抽選で記念グッズがもらえる。応募受付は会場コースごとに異なる。

- 開催日 7/17(土)~(応募受付 8/31(火)まで)
- 会場コース 138タワーパーク、せんい団地、中心市街地
- 開催日 8/21(土)~ / 会場コース 尾西
- 開催日 9/18(土)~ / 会場コース 木曽川町
- 【問合せ】一宮市政課100周年推進室  
TEL.0586-85-7433

### 2 新婚新生活支援事業 (マイスイートホーム事業)

新婚世帯の住宅取得や賃借、引越しにかかる費用の最大20万円までの補助を、1年間限定で実施。なお、申請は先着順。令和3年中に婚姻届を提出し受理された夫婦であることをはじめ、所得制限など対象条件の詳細や必要書類等是要確認&問合せ。

- 申請期間 令和4年1/28(金)まで
- ※予算額に達した時点で受付終了
- 夫婦で年所得 400万円未満
- 【問合せ】一宮子ども家庭部青少年課  
TEL.0586-84-0017

### 3 野菜を食べよう! いちみんキャラ弁コンテスト

いちのみや野菜プロジェクトの一環として、市内で多く栽培されている「ナス」を使うお弁当コンテスト。料理を職業としていない個人又はグループが応募できる。入賞作品は「いちのみや市100周年推進室Instagram」に掲載。要件や方法等詳細は要問合せ。

- 募集期間 9/15(水)まで
- ☆必切迫!!☆
- 【問合せ】一宮市活力創造部農業振興課  
TEL.0586-28-9136

## 市民チャレンジ事業

市民が企画・実施する、43の事業。「健康・元気」をテーマに、広く市民が交流できるわくわくユニークなイベントは、来年の2月まで続く!

## 9月に楽しめる市民チャレンジ事業

| 事業名                        | 開催日        | 開催場所      | 団体名            |
|----------------------------|------------|-----------|----------------|
| ● 麻雀フェスティバルinいちのみや         | 4(土)他      | i-ビル      | いちのみや麻雀PV運営委員会 |
| ● Tipoチャリティフェスティバル         | 5(日)       | i-ビル      | Tipo           |
| ● 尾州産地ふれあい交流会              | 6(月)~12(日) | i-ビル      | イチコミ           |
| ● 闘病で脱毛する女性に届けたい100枚のタオル帽子 | 12(日)      | i-ビル      | SUNNYサポートチーム   |
| ● いちのみやナゾトキホリデイ            | 19(日)      | i-ビル      | ピントラボ          |
| ● トミダヤマ ピーチフェス             | 20(月)      | 富田山公園     | TOKINTOKIN     |
| ● トミダヤマ リバーキャンプ            | 20(月)      | 富田山公園     | sotocasa       |
| ● 郷土愛を育むデジタル仕掛けの絵本の制作・公開   | 26(日)      | 尾西歴史民俗資料館 | カラクリBOOKSいちのみや |
| ● ノコギリ・スケルトン・トライアル         | 4~11月      | 玉ノ井駅横     | ノコ屋根ベース i      |
| ● いちのみや・スマイル・プロジェクト        | 4~2月       | 市内一円      | NPO元気ふれあい倶楽部   |
| ● 100周年カフェで、まちを健康・元気に!     | 7~10月      | 本町商店街     | 社の宮市準備委員会      |

### 注目

## ノコギリ・スケルトン・トライアル

ノコギリ屋根の空間&町並みの魅力を感じ

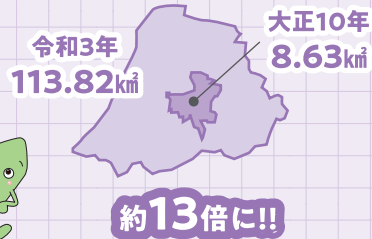
名鉄尾西線の終点「玉ノ井駅」プラットフォームの向かい側にあるノコギリ屋根工場。その一部がスケルトンに! 壁がなくビニールシートに覆われ、内部構造が透け透け。ノコギリ屋根の独特な骨組を外からも楽しめ、夜間はライトアップも。尾州の毛織物産業を支えた木造ノコギリ屋根の魅力や可能性を感じることができる、必見プロジェクトだ。

最新情報は「一宮ノコ屋根ベース i」Facebookページでチェック!!

設営作業には市民参加も



### 市の面積



### 市の人口



DATAでみる

100年前と今

最初は8.63km<sup>2</sup>だった一宮市は、昭和15年に葉栗村・西成村と合併。戦後の復興期を経て、高度経済成長に入った昭和30年に丹陽村、浅井町、北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村の8つの町村と合併したんだ。そして今の面積となったのは平成17年。尾西市・木曽川町と合併して、現在の113.82km<sup>2</sup>になったんだね。



# 一宮市100歳、おめでとう 祝

## これからもよろしく♪

### 100年前はどんな時代だったのかな?

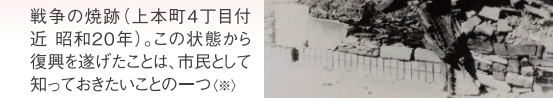
一宮市の前身は明治22年に中島郡一宮村と一色村が合併してできた一宮町。大正12年の市制施行により一宮市が誕生したんだね。当時、旧尾西市には起町と朝日村があって、旧木曽川町は黒田町から改称し木曽川町になったんだよ。一宮市が誕生した大正時代は、「大正デモクラシー」、「大正ロマン」などの言葉が生まれ、欧米風のファッションが流行った時。都市部では一気に欧米化が進んで、今のぼくたちの暮らしに繋がる生活様式が始まった時代といわれているよ。



市制記念日の旗行列 (殿町付近 大正10年) (※)



〈※〉一宮市立中央図書館所蔵



戦争の焼跡 (上本町4丁目付近 昭和20年)。この状態から復興を遂げたことは、市民として知っておきたいことのひとつ (※)



アーケードがまだない頃の  
本町商店街 (昭和45年7月撮影) (※)



山内一豊の生誕の地・木曽川町で「町おこし」として昭和59年に始まった「一豊まつり」。写真は令和元年様子



一宮の夏の風物詩「尾張大花火」。尾張地方随一の大きさの2尺玉をまた楽しみたい



「ツインアーチ138」がシンボルとなっている「138タワーパーク」



一宮市のマスコットキャラクター「いちみん」は、幸せを運ぶ妖精

## 一宮市 写真で比べる いま・むかし



### T10 一宮市の誕生(市制施行)

- S5 市庁舎(旧一宮庁舎)完成
- S10 この頃、日本最大の毛織物産地になる
- S20 戦災により市街地の大半を失う
- S25 第5回国民体育大会を開催
- S26 尾張一宮駅ビルが完成
- S30 尾西市市制施行
- 第1回おりもの感謝祭一宮七夕まつり開催
- S31 濃尾大橋が開通
- S33 尾西市庁舎(旧尾西庁舎西館)完成
- S35 市庁舎新館(旧一宮庁舎)完成
- S39 名神高速道路一宮ICが開通
- S44 国道22号線(名岐バイパス)全線開通
- S46 市庁舎(旧一宮庁舎)10階建て増築工事完成 本町アーケード完成

- S51 木曽川町庁舎(現木曽川庁舎)完成
- 第1回一豊まつり開催
- S59 尾濃大橋が開通
- 「尾西市・羽島市花火大会」が始まる (後に「濃尾大花火」と改称)
- H5 「国営木曽三川公園 138タワーパーク」完成
- H7 東北北陸自動車道一宮木曽川ICが開通
- H9 本町商店街アーケード改築工事完了

- H13 i-バス運行開始
- H14 特例市としてスタート
- H16 尾西市新庁舎(現尾西庁舎)完成
- 一宮市・尾西市・木曽川町が合併して「一宮市」となる
- H17 名古屋高速道路16号一宮線開通
- H18 一宮ナンバーを導入
- 市マスコットキャラクターが「いちみん」に決定

- H22 i-ビルがオープン
- H24 新庁舎(現市役所本庁舎)完成
- 中核市へ移行
- R3 市制施行100周年

### 一宮市での主な出来事

1921

世の中  
の主な出来事

- 1923 (T12) 関東大震災
- 1941 (S16) 太平洋戦争が始まる
- 1945 (S20) 終戦
- 1950 (S25) この頃から「ガチャマン景気」始まる
- 1951
- 1955 (S30) 高度経済成長期が始まる
- 1959 (S34) 伊勢湾台風
- 1964 (S39) 東京オリンピック
- 1970 (S45) 大阪万博
- 1989 (H1) 世界デザイン博覧会
- 1994 (H6) わかしやち国体
- 1995 (H7) 阪神・淡路大震災
- 2000 (H12) 東海豪雨
- 2001
- 2005 (H17) 「愛・地球博」開幕
- 2008 (H20) リーマンショック
- 2011 (H23) 東日本大震災
- 2020 (R2) 新型コロナウイルス感染拡大
- 2021